

本堂大唐破風向拜 完成しました

《功德の施主》

- 金壹千万円 生松 進殿
- 金壹千万円 西川一英殿
- 金参百万円 片寄英男殿
- 金二百万円 吉川文雄殿
- 金二百万円 西川裕子殿
- 金壹百万円 相田隆子殿
- 金壹百万円 片寄正子殿
- 金壹百万円 水足義生殿

本堂改修工事は前記の施主の方々からのご寄付により完成しました。

生松進さま（令和三年十二月二十三日ご逝去）は生前、相続財産の一部を長泉寺住職西川一英宛に遺贈する旨を都内法律事務所を通して遺言書にしたためられておりました。進さまのご逝去の後、財産管理人からの当方への連絡で初めて知り、後日振り込まれた次第です。この遺贈金は全額を今般の工事に充当し、生松さまのご遺志を末代に残る形あるものになりました。

片寄英男さま（平成三十年五月十六日ご逝去）は生前、片寄家先祖代々供養のために、相田隆子さま（令和四年二月十三日ご逝去）は亡き旦那さまのご冥福をお祈りしたいとご自身でお寺に寄付金をお持ち下さいました。

水足義生さま（横浜市在住・寺族裕子の父）は亡き奥さまの一周忌のご供養として、吉川文雄さま（福島市在住）は大学時代の恩師である西川悦厳和尚の供養



と長泉寺の発展のために、片寄正子さま（横浜市在住）はご両親ご兄弟のご供養のためにご寄付下さいました。

これら高額のご寄付は全て法人長泉寺として積立てていたものをこの度の本堂整備費に役立て、ご遺志・ご厚志を形あるものにしませんでした。

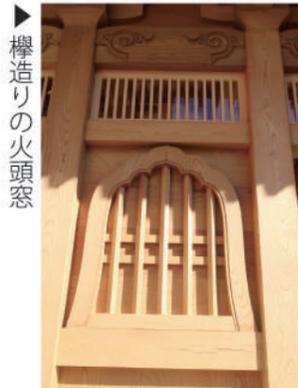
長泉寺三十九世現住職は平成十五年の晋山以来、十二年間無事に寺院運営を果たしおりました。ひとえにお檀家皆さまのご理解ご協力の賜物と感謝に堪えません。

副住職時代には庫裏広間を教場として寺子屋（算数数学塾）を営むことができました。町外遠方からも沢山の子どもたちが通い、教科指導だけでなく坐禅、写経、合宿、登山やスキー等々楽しい思い出がいっぱいでした。



子どもたちや親御さんから信頼を得られたのも、お寺が経営する塾という安心感からではとわが身の浅学非才を振り返り有り難く思っています。

さらには、長泉寺開山以来現在に至るまでの五九〇年、時代の変遷の中で幾多の困窮や災害を乗り越えお寺を護持してきた歴代住職・檀信徒の辛苦に思いを巡らすとき、祖師方の不撓不屈の強い思いに、法孫にあたる者としてただただ感謝ばかりです。今回の寄付は、住職在位二十年にあたり、これらの報恩感謝の思

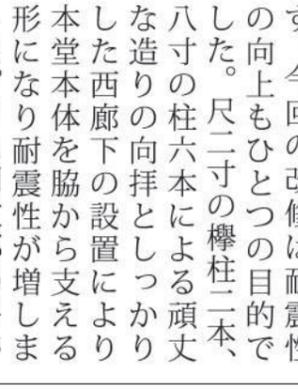
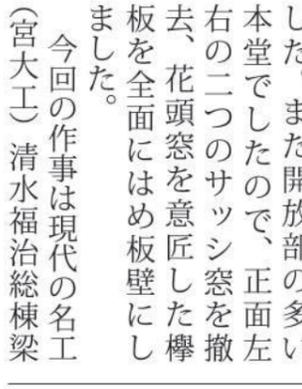


寺族裕子は都会の一般家庭の出身で、お寺のしきたりも田舎のお付き合いも知らないまま嫁ぎましたが、これまで多くの方々の支えやご指導のもと無事に寺族としての勤めを果たしています。若い頃は周囲の理解も得ながら薬剤師の資格をいかし医療機関の仕事にも携わることができました。今回の事業には是非とも一個人として協力したいと寄付を申し出ました。

新しい向拜の軒はこれまでの軒より二間以上前方に張り出しています。降



▲ 伝統工法による木組み

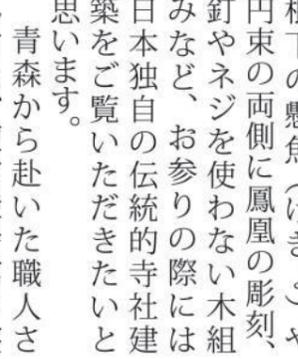
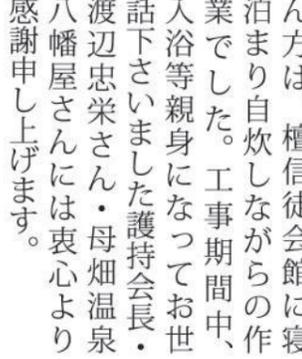


雨の際でも出入りには濡れずに済み、特に本堂葬儀の折には焼香台を前面に置きゆつくりと焼香ができます。

さらに、本堂西側に幅五、五尺の廊下と本堂へ上がる勾配のゆるい手すり付きの階段を設置しました。高齢の方々や足腰の弱い方々はこちらの階段をお使いいただけます。この廊下の設置により夏の強い西陽や雨の吹き込みを防ぐことができました。



▲ 龍と鳳凰の彫刻



のもと、宮大工集団（青森県・松本工務店）が伝統技法により行いました。

向拜は屋根が鳳凰の翼のように大きく広がって見える大唐破風造りです。壁はあえて白漆喰にせず、檜の羽目板にしました。重い屋根を支える化粧垂木（けししょうだるき）は間隔を狭くし数を増やして強度を高めました。虹梁（こうりょう）には白波や若葉の彫り物、屋根の荷重を支える蛙股（かえるまた）に龍、柱の木鼻（きばな）には正面に獅子、脇に漢（ばく）、屋根下の懸魚（けぎょ）や円東の両側に鳳凰の彫刻、釘やネジを使わない木組みなど、お参りの際には日本独自の伝統的寺社建築をご覧いただきたいと思えます。



追記

工事完成にあたり下記の方々からお祝いを頂戴いたしました。衷心より御礼申し上げます。これらの金円は本堂内整備・仏具購入に使わせていただきます。

- ◆ 石川 渡邊忠栄様 金百万円
 - ◆ 浅川 長徳寺住職川崎真裕様 金二十万円
 - ◆ 石川 匿名施主 金二十万円
 - ◆ 石川 光渡寺住職大平雄介様 金十万円
 - ◆ 伊丹 野田数己・靖子様 金十万円
 - ◆ 笠間 渡辺富雄様 金十万円
 - ◆ 石川 大竹三千夫様 金十万円
 - ◆ 那須 金沢清一様 金五万円
 - ◆ 石川 深谷造花店永林正英様 金三万円
 - ◆ 石川 西川健夫様 金二万円
 - ◆ 上尾 洞派俊英様 金二万円
 - ◆ 石川 吉田英弘様 金二万円
 - ◆ 石川 下山田和雄様 金二万円
 - ◆ 川口 吉川信子様 金二万円
- （令和七年十二月十日現在）

